

街歩きヒストリア



八丁堀外濠跡碑。向かい側には福屋八丁堀本店がある。

広島で最も賑やかな「八丁堀」。その名は、かつて広島城を囲んでいた外堀の長さに由来します。福屋デパートから広島拘置所手前まで、長さが八町（約 900m）あったので、八丁堀と呼ばれるようになったそうです。

この堀は明治時代に埋め立てられ、京口門公園などが造られました。



京口門公園内にある京口門跡碑。

公園前を南北に通る道には、常盤橋線という市内電車の路線も敷設され、白島方面への道として賑わいました。現白島線は、原爆投

下から 7 年後（昭和 27（1952）年）に常盤橋線が移設されたものです。

八丁堀外濠跡碑、京口門跡碑などを目にしながら歩いていると、お堀に囲まれていた広島城下町の歴史が浮び上がってきます。

（文・写真 小川 敏明さん）



八丁堀を歩く 八丁堀

④2

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。編集してくださる方を随時募集しております。

【ご案内】中央公民館4階ホールにて「街歩きヒストリア」の一部を展示しています。また、ホームページにも掲載しております。